

整理番号：6－4

提言題名：双葉団地に総合的な水害対策について

【提言要旨】

双葉団地に住んで今年で43年になります。

この間度々水害に悩まされてきました。

自宅は団地内でも一番低い位置にあり、特に田植えの時期や梅雨時、台風の季節は用水路からの溢水や雨が集まってたちまち目の前の道路が冠水します（毎年発生します）大抵は30分から1時間程度で引くのですが、台風や最近の異常気象による線状降水帯のような長雨、瞬間的な多雨時には玄関先にある3段の階段が一段ごとに水没していく様子に恐怖を感じます。

3年前の2023年6月の線状降水帯による双葉地区の水害では我が家も道路から90cmの水で床下浸水し玄関では靴が、台所では床下収納庫が持ち上がりぶかぶか浮いている状態になりました。

この様な不安を持ちつつ既に76歳を迎えたこの歳で他所に引っ越しをするわけにもいかずこの地で毎日を過ごしています。

この様な状況をご理解いただき、どうか双葉地区に総合的な水害対策をお願いいたします。

（令和8年5月受付）

【回答要旨】

管理課では、双葉地区の東側の双葉緑道沿いに田んぼからの溢水を防ぐ目的で3か所、さらに、双葉3丁目地区の勘兵エ堀排水路沿いには、用水からの溢水を防ぐ目的で2か所、合計で5か所に土嚢及び止水板の設置を行っております。

また、双葉団地内に、浸水センサーを5か所設置しており、リアルな道路状況を把握し、速やかに対応ができるよう備えているところです。

（管理課 令和8年5月回答）

排水対策課では、双葉団地周辺における水害対策について、これまでも市として重要課題として対策を進めてまいりました。

排水路やポンプ場等の点検を定期的におこない、施設改修及び水路清掃等の適正な維持管理を進めております。

さらに近年、気候変動の影響により集中豪雨やゲリラ豪雨などが増加していることを踏まえ、昨年度より双葉ポンプ場の動作確認がリアルタイムで情報共有できるシステムを導入しました。

このことによって、災害時にも迅速に対応し、より一層の住民の安全確保に取り組んで行けると考えております。

今後も、ご指摘の内容を重く受け止め、引き続き、住民の皆様が安心して暮らせる環境を整備するため、国や県、関係各課とも連携をとりながら、双葉団地を含む地域の総合的な水害対策を進めていく所存です。

(排水対策課 令和8年5月回答)

農政課では、双葉団地の水害対策として、令和4年度に勘兵エ堀排水路につきまして当初100mの嵩上げ(30cmから50cm)実施から始まり、令和5年度に470m、令和6年度に30mの嵩上げを実施し、総延長計600mの嵩上げ及び防水シートの敷設を行いました。

また、大夫落排水路につきましては、令和6年度に200mの嵩上げ・防水シート敷設を行い、双葉第一ポンプから排水される水路付近の水位が下がるのに時間がかかり水路側面の土砂が崩落してしまうため、その土砂崩落対策として橋の袂から団地側に沿って約30mのコンクリート敷設工事を行い、令和7年度にも70mの嵩上げ及び防水シート敷設工事を行いました。

団地西側小排水路につきましても、令和6年度に150mの嵩上げを実施しました。

大夫落排水路及び勘兵エ堀排水路農業排水路においては、水位観測用AIカメラを設置し、水路の水位情報について関係各課との情報共有に努めています。

(農政課 令和8年5月回答)